

登録No. S-093  
 登録名 Nivolumab療法  
 催吐性リスク 最小度  
 適応疾患 胃癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ニボルマブ 生食	①240mg/body ②480mg/body 100mL		d1	d.i.v.	30min	インラインフィルター (0.2又は0.22 μm)使用

1クールの間 ①2週間 ②4週間

その他（副作用・PS規定等）

注意が必要な副作用 間質性肺炎、大腸炎、重度の下痢、免疫性血小板減少性紫斑病、甲状腺障害、腎障害  
 脳炎、静脈血栓塞栓症、重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症  
 1型糖尿病、肝炎、硬化性胆管炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、infusion reaction  
 グレードにより再開、休止、中止規定あり  
 注意点： 振盪により凝集体が認められることがある為、振盪しない  
 希釈後の総量は60mL以上とし、最終濃度は0.35mg/mL以上とする  
 開始基準： WBC $\geq$ 2000/mm<sup>3</sup>かつNeutr $\geq$ 1000/mm<sup>3</sup>、Plt $\geq$ 10万/mm<sup>3</sup>、Hb $\geq$ 8.0g/dL  
 AST/ALTが施設基準上限の3.0倍以下（肝転移を有する場合は5.0倍以下）  
 T-Bilが施設基準上限の2.0倍以下  
 SCrが施設基準の1.5倍以下またはCCrが45mL/min以上